

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 20 日

評価対象事業		評価者	文化財課長 鈴木 庸一郎	
文財-03	重点事業	史跡環境整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化財課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

1 事業の目的

対象	国等指定史跡
意図	国等指定史跡の整備及び保存・活用を行うため。
効果	国等指定史跡の保存・活用を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・史跡永福寺跡の維持管理や史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策に係る詳細設計及び台風で被害を受けた史跡鶴岡八幡宮境内等の崩落土砂及び倒木の撤去業務等を行った。 ・公有地化した史跡の維持管理を行った。 ・台風で被害を受けた史跡永福寺跡等の災害復旧工事について、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。 ・前年度からの繰越明許費により、史跡鶴岡八幡宮境内斜面崩落対策工事を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,308人	176,436人		人口	176,608人	
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯			
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数				
	決算値(千円)	38,639	69,995	当初予算(千円)	148,119			
	国県支出金	7,485	17,568	国県支出金	77,852			
	地方債		21,300	地方債	18,700			
	その他	147	75	その他	52			
	一般財源	31,007	31,052	一般財源	51,515			
事業経費運営	人員配置数	3.5	2.0	人員配置数	3.7			
	人件費(千円)	27,525	15,728	人件費(千円)	29,618			
	総事業費(千円)	66,164	85,723	総事業費(千円)	177,737			
	市民1人当りの経費(円)	375	486	市民1人当りの経費(円)	1,006			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 史跡買収事業について、史跡環境整備事業と密接にかかわることから、統合する。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 史跡の公開、活用を積極的に進めていくためには、本来、拡大することが望ましいが、限られた予算の中でより有効な活用を図っていくため、現状維持とする。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	・市民等が歴史・文化への理解を深めるための拠点として、史跡永福寺跡の公開活用を進めることができた。 ・史跡大町釈迦堂口遺跡のやぐらの保護とトンネル部分の通行再開に向け、崩落対策工事詳細設計業務を実施した。この成果をもとに、令和2年度の着工を目指す。 ・「鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議」で、現状で十分な公開活用ができていない史跡の公開手法について意見交換を行ったが、台風被害からの復旧を優先せざるを得ず、新規の史跡公開には至らなかった。 ・草刈りや危険木処理などの日常的な維持管理は、住民からの要望に迅速に対応することができた。

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備部に委任している文化財課の史跡等での調査、整備等について、設計・入札事務の遅れ等がないよう、連絡を密に取って確実に進めていく必要がある。 ・台風被害からの復旧などにあって、土木専門職が配置されていないことから、迅速な設計、積算が困難である。 ・台風や強雨、強風などで史跡指定地での倒木等が多くあり、速やかな対応が困難な面があった。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備部と密に連絡を取ることで、工期の大幅な遅れはなく事業を実施することができた。 ・災害復旧については、各史跡で必要な対策工事の施工に向け、他部の協力を適宜仰ぎながら、応急的な危険の除去は実施することができた。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡の整備、災害復旧については、土木技術者等の積算や設計が必要であるが、文化財課から都市整備部への委任、技術協力は限界がある。 ・十分な公開・活用ができていない史跡について、鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議で意見を聞いたが、新規の公開等には至っていないため、引き続き暫定的な公開手法を検討し、実施していく必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	指定史跡名勝天然記念物の件数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	77	18	14	1	41	29	16	12	9
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	整備や管理、調整等、文化財関係の必要な業務量は文化財数に比例するため、自治体の人口規模や財政規模ではなく、指定文化財の件数を指標として、必要な経費を確保し、事務体制を整備する必要がある。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	維持管理を実施した史跡数	単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	市が管理する史跡のうち、定期的な管理が必要な史跡数を目標値とした。
適正な管理を行うことで、史跡を保護するため。	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	
	実績値	9.0	8.0	10.0	11.0	10.0	10.0	
	達成率	52.9%	47.1%	58.8%	64.7%	58.8%	58.8%	
指標の内容	一般公開されている史跡数	単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
史跡について公開・活用を図るため。	目標値	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	
	実績値	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	
	達成率	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%	
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成28年度から、日常的な維持管理にかかる予算を増額し、市民協働事業を実施したことにより、史跡の管理状況が改善されつつあるが、すべての指定地の管理が十分にできている状況には至らないため、さらなる工夫が必要である。史跡指定地の公開活用については、鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議で意見を聞きながら暫定的な公開を進めていく必要がある。							